

1 教育方針

- 日本国憲法・教育基本法等関係法令及び県・市の教育方針に基づき、教育の中心に子どもを据え、知・徳・体の調和のとれた人間性豊かな子供を育成する。
- ふるさとの素材・人材を生かした教育を推進し、ふるさとへの愛着と誇りを育む。
- 予測困難な未来を生き抜く力と将来ふるさとに貢献する人材の育成を目指す。

2 学校経営方針

- (1) 未来を切り拓くために必要な「確かな学力」の定着に尽力する。
- (2) 豊かな心を育み、人を大切にする心情を醸成する。
- (3) 学校経営方針の具現化と、一人一人を伸ばさせる学級経営を展開する。
- (4) 安全・安心な教育環境の整備と安全教育の徹底に努める。
- (5) 児童生徒の心に響く適切な指導と心に寄り添った支援を行う。
- (6) 設定した目標に根気よく取り組む強い心と体を育む。(体力・耐力・態力・推力・堆力)
- (7) 各の知恵と力を発揮して学校づくりに参画し、活力ある学校経営をめざす。
- (8) 小中高一貫教育の推進と保育所との連携を図り、系統的な教育実践を展開し、教育効果を高めていく。
- (9) 「地域とともにある学校」を実現するために、家庭・地域と目標やビジョンを共有し、連携・協働した教育を展開する。(ふるさと教育の充実を図る)

3 教育目標、校訓

夢・実現

～ふるさとを愛し、夢の実現に向けて努力する「奈っ自慢子」の育成～

◆校訓 「なせばなる」

*健康でたくましく自分のもつ可能性へ挑戦する児童生徒を育成する。

「なせば成る 為さねば成らぬ何事も 成らぬは人の為さぬなりけり」上杉鷹山^{うえすぎようざん}

どんなことでもやろうと思って努力すれば、必ず実現できる。逆に、無理だと思ってあきらめ努力をしなければ、絶対に実現できない

(1) めざす子供像 (奈っ自慢子)

ふるさとを愛し、貢献できる子

- ①自己表現(知)・・・考え、伝え合い、高め合う子
- ②豊かな心(徳)・・・思いやりの言動ができる子
- ③たくましい心身(体)・・・目標に向かって努力する子

(2) めざす学校像

ふるさととともにある学校

- ①子供にとって行きたくなる楽しい学校
- ②教師にとって働きがいのある魅力的な学校
- ③保護者・地域にとって信頼できる学校

(3) めざす教職員像

情熱と愛情にあふれる教職員

- ①使命感と教育愛に満ちた教職員
- ②指導力向上を追究する教職員
- ③夢を語り、憧れを抱かせる人間性豊かな教職員

(4) 育成をめざす資質・能力

＜前期(小1～小4) 中期(小5～中1) 後期(中2～中3)＞

①人前力・・・つながる力・人と人をつなげる力 【思考力・判断力・表現力】

自分の考えを、根拠をもとに筋道を立てて表現し、他の人の考えや思いを理解しながら、主体的に人と関わることができる。

前期「自分から」

中期「認める」

後期「協働」

②**実行力**・・・わかる力

【知識・技能】

自ら課題を見つけ、計画的・主体的に解決することで、目標達成を果たすことができる。

前期「気づく」

中期「考える」

後期「動く」

③**貢献力**・・・えがく力

【学びに向かう力・人間性等】

社会に関する視野を広げながら、自らの生き方や望ましい職業観・勤労観を思い描き、自らの適性を理解した上で、見通しをもって生活することができる。

前期「あこがれ（モデリング）」 中期「夢（人生の願い）」 後期「志（人のため）」

④**生きる力**・・・社会で生きていく基盤となる力

目標に向かって根気強く取り組み、成長につなげることができる。

体力（タフな体）、耐力（我慢する心）、態力（正す力）、推力（押し進める力）、
堆力（継続して積み上げる力）

4 今年度の重点実践事項

①思いや考えを主体的に表現できる子供の育成

②英語教育の推進

③ふるさと教育の充実(地域素材、人材を活用した教育の展開)

5 本年度の努力目標と努力事項及び具体的推進方策

Ⅰ 教育課程・学習指導

*教科指導

*外国語活動

*総合的な学習の時間

*自立活動

*特別活動

1 「確かな学力」 の定着

(1) 基礎・基本の確実な定着 【人前力・実行力・貢献力・生きる力】

- ①「分かる」楽しさ、「できる」喜びを実感させる授業実践
- ②子供の不思議や疑問、探求意欲をもとにした「めあて」の設定
- ③子供の声を生かした「まとめ」
- ④「主体的・対話的で深い学び」の継続的な授業実践

★⑤協働的な学びの充実(思いや考えを伝え合う場の設定)

- ⑥習熟度を高める工夫(分かる→できる→スラスラ→教える・説明する)
 - ・演習時間の設定
 - ・ねらいに基づいた宿題
 - ・小テストの実施
 - ・ドリルなどの補助教材の反復活用
 - ・復習の場の設定
 - ・「基礎タイム」「リスタイム」の充実 など
- ⑦家庭学習の習慣化と充実
 - ・家庭学習の仕方を指導
 - ・家庭との連携
 - ・コンテスト実施
 - ・「宿題＋1」の系統的・継続的な取組

(2) 子供の実態に応じた指導・支援 【人前力・実行力・貢献力】

- ①各種検査の結果分析を生かした指導・支援
- ②学習支援策の工夫
 - ・個別指導
 - ・ヒントコーナーの設置
 - ・教え合い など
- ③特別支援教育の視点に立った個別最適な学びの実践
- ④ICT機器の積極的な活用

(3) 学習規律の徹底 【人前力・生きる力】

- ★①姿勢、反応、話型・聴型、話し合い、ノートづくりの指導
- ★②互いの考えを尊重する学級風土づくり
- ③授業開始前着席と忘れ物0をめざした指導の徹底

(4) 校内研修の充実 【人前力・実行力・貢献力・生きる力】

- ①研究主題、仮説に沿った授業実践の継続

★

(5) 外国語活動、外国語科、英語科の推進【人前力・実行力・貢献力】

- ①English day のバージョンアップ(会話する、楽しむ場の創出)
- ②ALTやICT機器を活用した校外の人々との積極的な交流
- ③英語にふれる全校的な取組の創出(English day、放送、集会などの活用)

	★ (6) 総合的な学習の時間「奈留・実践」の充実 【人前力・実行力・貢献力・生きる力】 ①系統化された小中高カリキュラムの実践（継続的な「3つの力」の育成） ②教科横断的な視点にたった学習の推進 ③課題解決的・探究的学習の充実 ④ふるさと教育の推進（地域素材・人材を活用し、地域のよさや課題に気付かせ、今後の生き方について考えさせることで郷土愛を育む） ⑤キャリア教育（あすなる）の充実（社会的、職業的自立の基盤となる能力、態度の育成。地域事業所への積極的な依頼）
2 豊かな心の醸成	(1) よりよく生きるための基盤となる道徳性の育成 【人前力・実行力・貢献力・生きる力】 ①いじめ、差別をしない、させない指導 ②多面的・多角的な視点で議論させる場を設定した授業の展開 ③規範意識、道徳的判断力・実践力の向上 ④道徳推進教師を中心とした重点目標の設定 ⑤各教科等の内容と関連づけた計画的・発展的な指導 ⑥道徳の学びを家庭へ情報発信（家庭との連携） (2) 特別活動の充実 【人前力・実行力・貢献力】 ①学級活動の充実（意思決定と合意形成を身に付ける） ②児童生徒の主体性を生かした各種行事、委員会・生徒会活動、クラブ活動、縦割り活動 ③社会性を育むための集団活動や体験的活動の推進 ④キャリアパスポートの積極的な活用 (3) 特別支援教育の推進 【人前力・実行力・貢献力・生きる力】 ①校内特別支援委員会の実施（支援を要する児童生徒への適切な対応） ②個別の支援計画、指導計画に基づく計画的、継続的な指導支援 ③全職員による共通理解と児童生徒への温かい関わり ④個の特性や能力に応じた指導支援

II 生徒指導	
* 学級経営・学年経営 * 生活指導 * 進路指導 * 教育相談・カウンセリング * 部活動指導	
3 学級経営の充実	(1) 学校経営方針の具現化 【人前力・実行力・貢献力・生きる力】 ①学校経営方針を基にした人事評価票（業務評価）の目標設定と遂行 ②定期的な評価と改善に向けた取組 R(実態調査・分析)P(計画)D(実践)C(評価)A(改善)サイクルの実践化 ★③今年度の重点実践事項の徹底（担当からの創造的な取組提案） (2) 児童生徒理解に基づいた学級経営 【人前力・実行力・貢献力・生きる力】 ①支持的風土の醸成（自己肯定感、自己有用感を育む経営） ②気になる児童生徒の情報共有、共通理解、全職員による観察、指導支援 ③教育相談の充実とスクールカウンセラーとの連携 ④心に寄り添ったふれあい ・児童生徒の喜びや楽しさへの共感的な言動 ・よさや成長を認め、ともに喜び合う姿勢 ⑤児童生徒のよさを引き出し生かす学級づくり（全員躍動する学級）
4 安心・安全な教育環境の整備	(1) 人権・平和意識の啓発 【人前力・実行力・貢献力・生きる力】 ①人権尊重の精神を培う継続した指導 ・規範意識の高揚 ・他者を理解し認める心の育成 言語浄化 ②いじめ防止基本方針に沿ったいじめ根絶と対応 ③世界情勢をもとに人権・平和の尊さについて考えさせる機会の設定 ④多様性を尊重する態度の醸成

	(2) 安全教育の徹底 【実行力】 ①危機管理意識の高揚（訓練を生活に生かす意識、関係機関との連携） ②登下校時の安全指導、交通安全指導の徹底 ③危機管理マニュアルの確認と改善 ④危機管理能力と安全管理能力の育成 (3) 教育環境の充実 【人前力・実行力】 ①掲示教育の充実（学びを生かした掲示、定期的な張り替え） ②魅力ある図書室経営と読書活動の推進 ③清掃指導の徹底 ④整理整頓
5 心に響く 生徒指導	(1) 児童生徒への適切な指導と対応 【わかる力・生きる力】 ①問題行動の未然防止 ②問題事案への迅速、適切な指導と対応（まずは傾聴する姿勢） ・即時・同一・共有・継続・報告 ・危機管理の「さしすせそ」（最悪、慎重、素早く、誠意、組織） ③不登校を生まない、あるいは改善させるための家庭、関連機関との連携 ・子供が安心する居場所（環境）の提供 ・個に応じた柔軟な対応 (2) 教科指導と生徒指導の一体化 【人前力・実行力・貢献力・生きる力】 ①「自己存在感の感受」「共感的な人間関係の育成」「自己決定の場の提供」「安全・安心な風土の醸成」の視点に立った教科と生徒指導
6 健康な 心身の育成	(1) 健康・保健・衛生の取組の充実 【わかる力・生きる力】 ①毎朝の健康観察による健康状態の把握と養護教諭との連携 ②感染症予防の実践化 ③はみがき指導とフッ化物洗口の実施 ④学校保健委員会の充実（保護者への啓発） ⑤食育教育の推進 (2) 基本的な生活習慣の定着 【人前力・わかる力・生きる力】 ①あいさつ、返事の定着 ②時と場、相手に応じた言葉遣いの習得 ③ハンカチ、ティッシュの携行 ④感謝を伝えることができる子供の育成（感謝を伝える機会の創出） ⑤家庭との連携（睡眠、起床、食事、メディアコントロールなど） (3) 体力向上の取組 【わかる力・生きる力】 ①体育科の授業の充実（運動量の確保） ②継続的な運動機会の設定（体育的な取組の充実） ③外遊びの推奨

Ⅲ 学校運営	
*校務分掌 *各種委員会 *施設・設備の管理 *家庭、地域との連携 *渉外	
7 校務分掌の 充実	(1) 学校を活性化させる校務遂行【人前力・実行力・貢献力・生きる力】 ①使命感と創造性にあふれた企画提案（企画委員会の充実） ②異校種同分掌間の連携と協働 ③子どもを生かし、育む校務計画 ④学校経営への積極的な参画
8 教育効果を高める 連携教育	(1) 小中高一貫教育の充実 【人前力・実行力・貢献力・生きる力】 ①3大行事を中心にした人間力の育成 ②教科部会を中心とした授業力と学力の向上

	③小中高の系統性を理解した教育実践 ④児童生徒の交流を活性化 (1) 保育所との連携 【人前力・実行力・貢献力・生きる力】 ①定期的な会議の設定 ②積極的な交流活動の実施 ③交流の場の設定
9 信頼される 学校づくり	(1) 服務の厳正 ①不祥事 0 ・子供の手本となる姿を常に意識 ・同僚による声の掛け合い ②服務規律強調月間の確実な実施（年 3 回） ③健康保持・増進に配慮した職場づくり ④事務処理の適正化 ⑤SDGs の推進 ・節電、節水、裏紙利用、備品・消耗品の適切な使用と保管 ・ゴミの分別の徹底 ・SDGs 教育の推進 (2) 連携・協働・発信 ①教育効果を高めるために家庭・地域・関係機関との連携、協働 ②地域資源、地域人材の発掘と整理 ③教育活動の積極的な発信（学校だより、学級だより、HP、発表会など） ④地域活性化への貢献（PTA 活動や地域活動への参加を促す） (3) 施設・設備の管理 ①定期的な安全点検と適切な対応 ②通学路の安全点検と市への改善要望 ③校内施設の整備（迅速な対応に努める）

令和7年度 学校経営について

1 思いや考えを表現させる機会を

授業において児童生徒の思考を活性化させるためには、「主体的に考えさせる」「発言させる」ことは欠かすことができません。教師の説明で多くの時間を費やしている授業になっていませんか。知識や技能を教えるだけで思考や演習の時間が十分確保できていないことはありませんか。または、児童の考えを十分生かすことなく、教師主導で解に導いたり、学習のまとめをしたりしていませんか。「主体的・対話的で深い学び」の授業をめざし、今一度授業づくり見直してみてください。本校には、人前で表現することを苦手としている児童生徒が多くいます。まずは、授業の中で思いや考えを発言させる機会を設定し、話し合いながら課題を解決する授業づくりをめざしてください。（まずは少人数の学級の中での訓練です！）全体での発表では、声の大きさ、理由や根拠を明確にする、言葉の選択、聴く姿勢、反応の仕方などをきちんと教え、正し、スキルを身に付けさせていきましょう。これらの積み上げが慣れとなり、自信となって人前で表現できる意欲へとつながると考えます。本校がねらう「人前力」の育成のために、多くの場面で児童生徒に意見を述べさせる機会を意図的に仕組んでいきましょう。

2 英語教育の推進

五島市は、平成26年度から英語教育に力を入れる独自事業「プロジェクトG」を推進し、市内すべての小学校を教育課程特例校に位置付け、小学校1年生から英語教育を行い、ALTを積極的に配置するなど英語を学ぶ環境の充実に力を入れてきました。奈留小学校は、五島市全体の取組よりも早い平成18年度に、全国初の中高一貫教育の「英語特区」に認定され、小学1年生から「英語科」を学び、小学6年生では中学1年生の英語教科書の一部を履修する取組を進めてきた経緯があり、長崎県の先進的な取組を行う地区でした。最近では、令和4年度に五島市教育委員会の委託を受けて英語教育研究発表会を開催していますが、研究の成果が十分継承されていないと感じます。英語教育のモデルを示してきた奈留地区において、今年度は再び力を入れていきます。テーマを「英語でつながる楽しさを味わおう」とし、学んだことを表現し合い、人と人がつながる楽しさを実感する取組を、英語教育推進教師を中心に全学級で年間通じて展開するようお願いいたします。本校に限らず、他校、異年齢、ALT、他国の人々と幅広くつながる経験をすることを期待しています。

3 ふるさと教育の充実

昨年度、奈留地区の素材や人々を生かしたふるさと教育を展開してきました。今年度もふるさとのよさを知る学びを通して、故郷への愛着と誇りを高めると共に、課題に気付かせることで故郷をよりよくしようとする貢献心を育む教育を計画的に展開していきましょう。（今年度もガイドツアーやCM作成など発展的な取組にチャレンジしてみてください）今年度は、上五島町と五島市のつながりを深めることを目的に「レインボープラン」と称して、奈留島の隣に位置する上五島町若松にある若松中央小学校と若松中学校との交流を図っていきます。オンラインを利用して学習発表をしたり、互いの町を教え合ったり、昼休みに会話したりするなど、目的に応じて交流を積極的に行うことを期待しています。予算的に可能なら若松へ出向き、交流する機会を設定したいと考えています。